

アオギリの取扱いについて

経緯

令和2年度

説明内容

令和3年2月 調布駅前広場オープンハウス

樹木医診断でc判定(空洞率66%)のため取扱いについて検討

令和3年3月 市民説明会

樹木医診断c判定を踏まえ、次世代に植え替える

令和3年度

令和3年7月 広報誌(EKIHUROタイムズ)

著しい空洞化を確認しているため、次世代に植え替えを行う

令和5年度

令和5年5月 広報誌(EKIHUROタイムズ)
現地掲示

5月より取り木を行う。引き続き安全確保に努める。
同上

令和6年度

令和6年7月 駅前広場オープンハウス

これまで実施してきた樹木医診断において、推定腐朽空洞率が不健全の基準である50%をはるかに超えており、倒木や幹折損が発生する危険性が高いため、令和6年度に伐採する

現アオギリの種から育てた苗木を調布駅前広場に新植する(令和7年度を予定)

令和6年11月 現地掲示, 市ホームページ

これまで実施してきた樹木医診断において、推定腐朽空洞率が不健全の基準である50%をはるかに超えており、倒木や幹折損が発生する危険性が高いため、令和6年12月2日に伐採する

現アオギリの種から育てた苗木を調布駅前広場に新植する(令和7年度を予定)

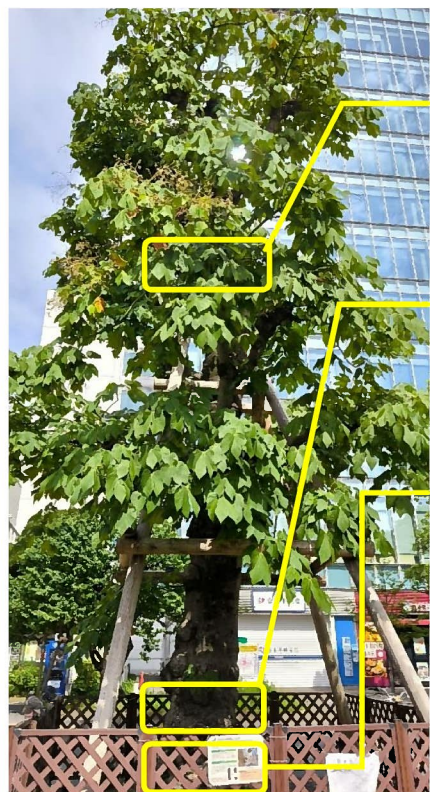
アオギリの今後について

令和6年7月26日・27日オープンハウス資料

■ アオギリの取扱い

- ・ 調布駅前広場のアオギリは、**推定腐朽空洞率が不健全の基準である50%をはるかに超える結果となり、倒木や幹折損が発生する可能性が高く危険な状況です。**
- ・ 令和6年6月に改めて実施した樹木医診断においても、危険な状況であることは変わらず、その取扱いについて専門家のご意見も踏まえながら検討を行って参りました。
- ・ 上記を踏まえ、広場利用者の安全性や今後の駅前広場の利活用を総合的に勘案し、**アオギリは駅前広場の整備に合わせて伐採し(令和6年度を予定)、現アオギリの種から育てた苗木を調布駅前広場北側ロータリーに新植します(令和7年度を予定)。**

■ アオギリの診断結果（令和6年6月実施）



測定高さ 5.80m(幹)

《腐朽空洞率》 61.9%
《診断判定》 C:不健全

測定高さ 0.40m(幹)

《腐朽空洞率》 71.0%
《診断判定》 C:不健全

測定高さ 0.30m(根株)

《腐朽空洞率》 73.8%
《診断判定》 C:不健全



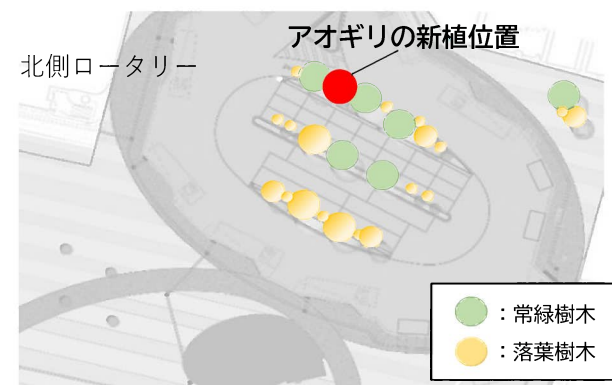
大枝の開口空洞

《樹木医の所見》

推定される腐朽・空洞率が50%を大きく超え、非常に危険な状況と考えられる。
有効な支柱の設置等の特別な事情がない限り、植え替えをすべきである。

調布駅前広場内のアオギリ

■ アオギリの新植



現アオギリの種から育てた苗木の育成状況

樹木医診断結果①（令和6年6月実施）

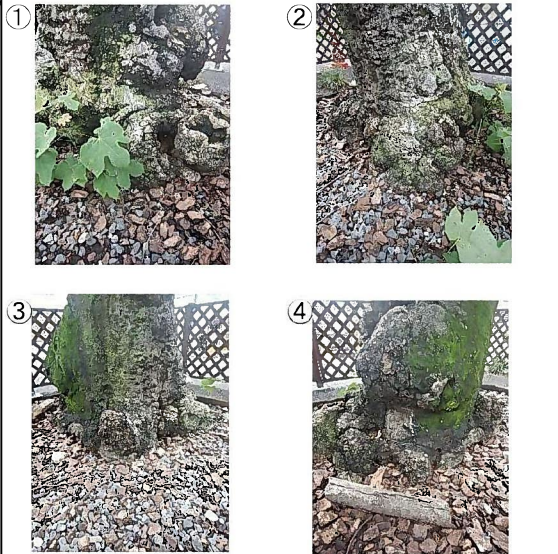
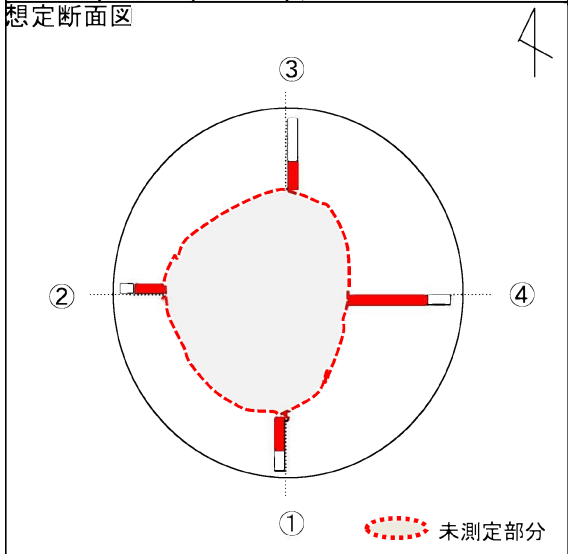
根株診断カルテ(レジストグラフ)

NO. 01-030n

事務所名

調布市役所

場所	調布市小島町2丁目		樹木医名		診断日	2024年6月29日	
樹木番号	01		樹種名	アオギリ	形状寸法は	外観診断等による	
測定高さ	0.30 m	測定直径	↓ 115 cm	↔ 108 cm	機種名	レジストグラフPD600	
俯角	40°	補正直径	↓ 150 cm	↔ 141 cm	測定位置	写真	



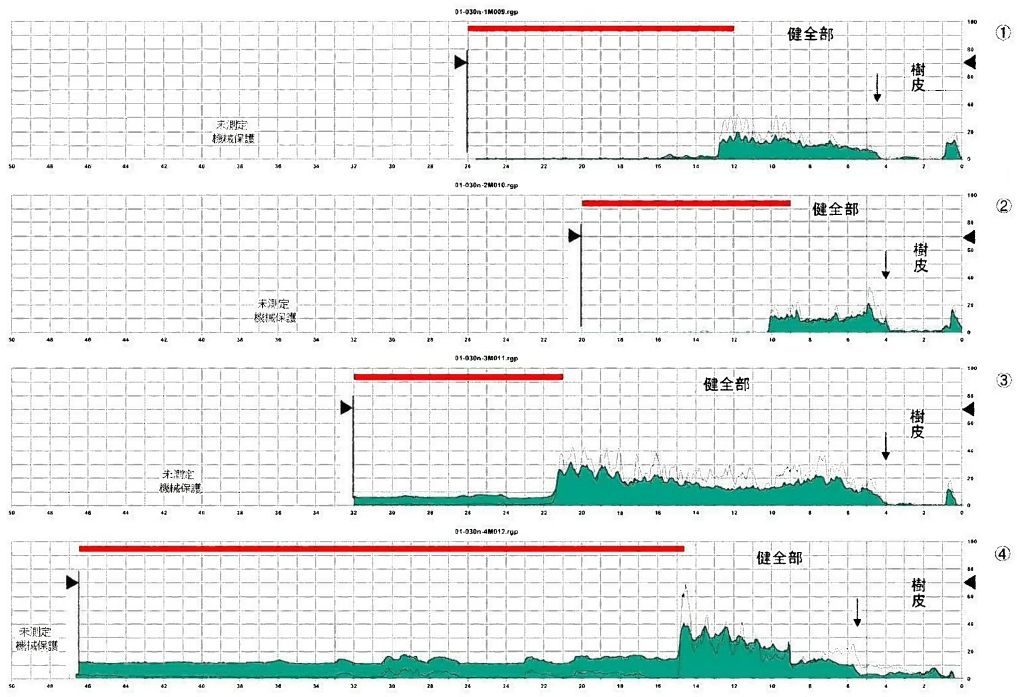
t/R率	各測定方向のt/R率とt/R率の計算式	
	① 0.106 = 7.5 / (150.0 / 2 - 4.5)	② 0.075 = 5.0 / (141.0 / 2 - 4.0)
	③ 0.239 = 17.0 / (150.0 / 2 - 4.0)	④ 0.138 = 9.0 / (141.0 / 2 - 5.5)

腐朽 空洞率 (%)	73.8 %	空洞率計算式(未測定部分は腐朽空洞部として計算)
		$\left(\frac{150.0 - 4.5 - 4.0 - 7.5 - 17.0 + 141.0 - 4.0 - 5.5 - 5.0 - 9.0}{150.0 - 4.5 - 4.0 + 141.0 - 4.0 - 5.5} \right) \times 2$

所見

推定される腐朽・空洞率が50%を大きく超え、非常に危険な状態と考えられる。有効な支柱の設置等の特別な事情がない限り、植え替えをすべきである。

測定結果



凡例 ▶ データの終点 ■ 異常(腐朽空洞)部 緑帯は回転抵抗、波線は前進抵抗を表す ◀ データの開始

樹木医診断結果②（令和6年6月実施）

腐朽診断カルテ（レジストグラフ）

NO. 01-040

事務所名

調布市役所

場所	調布市小島町2丁目		樹木医名		診断日	2024年6月29日	
樹木番号	01		樹種名	アオギリ	形状寸法は外観診断等による		
測定高さ	0.40 m	測定直径	↓ 81 cm ← 83 cm	機種名	レジストグラフPD600		

想定断面図

① ② ③ ④

① 未測定部分

測定位置写真

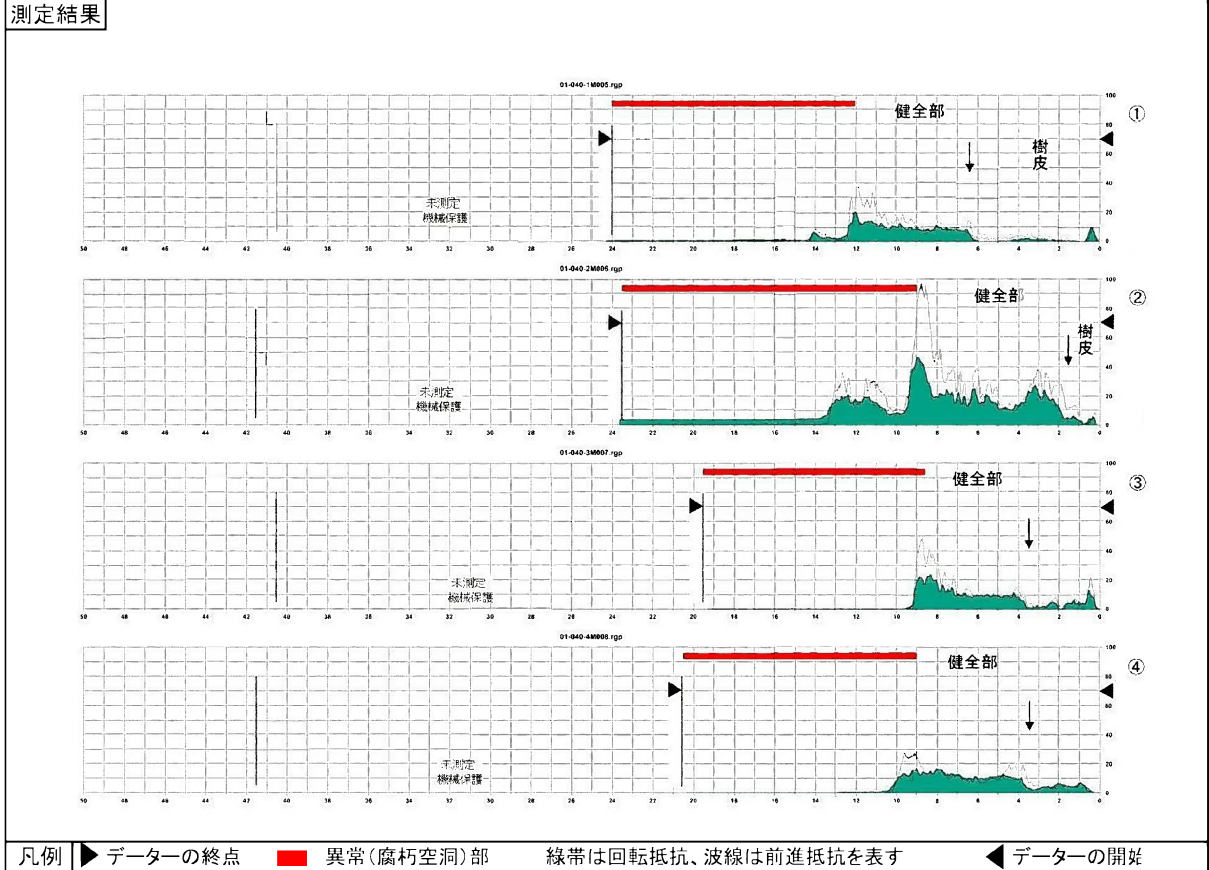
① ② ③ ④

t/R率	各測定方向のt/R率とt/R率の計算式	
	① 0.162 = 5.5 / (81.0 / 2 - 6.5)	② 0.188 = 7.5 / (83.0 / 2 - 1.5)
	③ 0.135 = 5.0 / (81.0 / 2 - 3.5)	④ 0.145 = 5.5 / (83.0 / 2 - 3.5)

腐朽 空洞率 (%)	71.0 %	空洞率計算式(未測定部分は腐朽空洞部として計算)
		$\left(\frac{81.0 - 6.5 - 3.5 - 5.5 - 5.0 + 83.0 - 1.5 - 3.5 - 7.5 - 5.5}{81.0 - 6.5 - 3.5 + 83.0 - 1.5 - 3.5} \right) \times 2$

所見

推定される空洞率が50%を大きく超え、危険な状態と考えられる。有効な支柱の設置等特別な事情がない限り、植え替えをすべきである。



樹木医診断結果③ (令和6年6月実施)

腐朽診断カルテ(レジストグラフ)

NO. 01-580h 事務所名 調布市役所

場所	調布市小島町2丁目		樹木医名		診断日	2024年6月29日	
樹木番号	01		樹種名	アオギリ	形状寸法は外観診断等による		
測定高さ	5.80 m	測定直径	↓ 54 cm ↔ 47 cm	機種名	レジストグラフPD600		

想定断面図

① ② ③ ④

未測定部分

測定位置写真

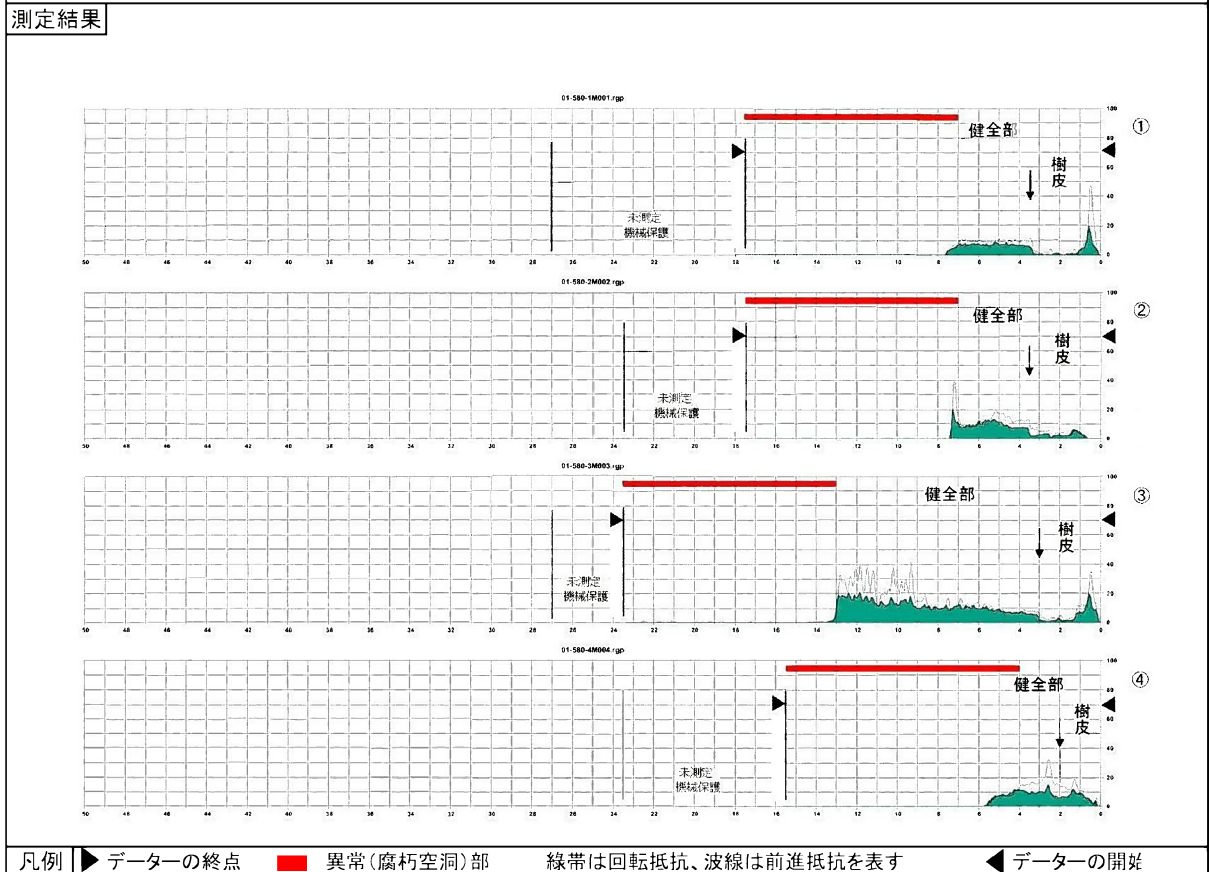
① ② ③ ④

t/R率	各測定方向のt/R率とt/R率の計算式	
	① 0.149 = 3.5 / (54.0 / 2 - 3.5)	② 0.175 = 3.5 / (47.0 / 2 - 3.5)
	③ 0.417 = 10.0 / (54.0 / 2 - 3.0)	④ 0.093 = 2.0 / (47.0 / 2 - 2.0)

腐朽 空洞率 (%)	61.9 %	空洞率計算式(未測定部分は腐朽空洞部として計算)
		$\left(\frac{54.0 - 3.5 - 3.0 - 3.5 - 10.0 + 47.0 - 3.5 - 2.0 - 3.5 - 2.0}{54.0 - 3.5 - 3.0 + 47.0 - 3.5 - 2.0} \right) \times 2$

所見

推定される空洞率が50%を超え、危険な状態と考えられる。有効な支柱の設置等特別な事情がない限り、植え替えをすべきである。



アオギリ伐採時の状況

①







中央(上部)幹伐採



中央(上部)幹断面



中央(下部)幹伐採



中央(下部)幹断面



下部幹伐採



下部幹断面

根株状況



伐根開始状況



伐根状況



伐根状況

参考



現アオギリの種から育てた苗木
(令和6年11月末時点)